



黒河内浩
後援会報

No.10

発行所
伊那市美篤上原4592-3
TEL.74-8840
発行責任者 西村秀雄

平成23年12月議会～平成24年9月議会

黒河内浩の市議会活動報告

…ごあいさつ…

市会議員になってから10年が経過し、議員として一番脂がのっている時と自負しています。市民の声をしっかりと聞いて市政に反映させるとともに、議会改革に取り組んでいきます。

伊那市政も過去から脱却し、将来に向かって大きくかじを切ろうとしています。将来の伊那市がどうあるべきか皆さんとともに考えていきたいと思ひます。この議会報告も第10号となりました。今後も皆さんの期待に応え、議員としての職責を果たすよう頑張ります。

ホームページをごらんください。黒河内浩 検索 <http://www.kurogouchi.jp/>

『議会改革特別委員長』として、さらなる議会改革に取り組んでいきます。

「伊那市議会基本条例」を成立させ、また議会改革特別委員会主催での「第2回議会改革フォーラム」を開催して多数の市民の皆様から提案、ご意見を頂きました。委員長として、市民から信頼される議会を目指して頑張ります。皆さんからの積極的な支援をお願いします。



「議会改革フォーラム」会場の様子



議会改革のための議員研修会に参加

飯田市での議会改革のための議員研修会に、伊那市議会もこの研修会に参加しました。改革に向けて積極的に発言しました。



幅広い活動

伊那谷市町村議員連盟（上・下伊那の宮下一郎を支援する市町村議員で構成）の総会において会長として挨拶。



伊那市の重要政策のポイント

1 中央病院のさらなる充実

「救命救急センター」・「研修センター」等施設の増築に着手。総事業費約20億円をかけて、平成25年秋完成します。



増設工事を待つ中央病院

2 幹線道路網の整備

環状南線・環状北線・国道153号伊那バイパスの3線を中心に主要幹線道路網の整備を促進します



裏面へ続く

3 伊那消防署の移転新築、上伊那広域消防の一本化へ

「富士塚グランド北側」(荒井区)に新消防署を建設します。総事業費は約18億円で、平成27年に供用開始です。新伊那消防署は防災拠点施設として、消防司令センターとして整備される予定です。



4 学校耐震化整備と保育園の統合整備の促進

東部中の大規模改修をはじめ、学校の耐震化を図ります。保育園は保育サービスの充実のためにも統合整備を進めます。



現在、改築整備の進む東部中。総事業費は約15億円です。

5 新ごみ中間処理施設の整備

1年かけた環境影響評価が終了し、今後住民意見の募集に入ります。施設整備基本計画も策定され、処理量・処理規模・処理方式等の方向性が示されました。

中部電力浜岡原子力発電所を視察しました。

浜岡原発は現在運転を停止し、地震・津波対策の工事を進めています。電力の需要と供給のあり方を勉強していきたいと思えます。



原子炉の起動・停止を調整する制御棒の模型



実物大の原子炉圧力容器の模型

後援会活動

平成24年浩龍会主催の暑気払いを実施しました。8月19日(日)にマレットと暑気払いを実施し、多数参加の下、焼肉を行いました。ありがとうございました。

平成24年 一般質問の要旨

【平成23年12月議会】

①質問内容 平成24年度予算編成に対する市長の方針は。

市長答弁 財政健全化を基本にして予算編成に取り組む

②質問内容 合併特例債の今後の活用は。

市長答弁 小中学校の耐震化、伊那消防署の移転新築、保育園の統廃合について、平成27年度までは計画通り合併特例債を活用して事業を進めていく。

《太陽光発電補助金制度について》

③質問内容 太陽光発電補助金は資金的に余裕のある人だけが利用できる制度であり、活用できる範囲が限られている。制度を見直すべきだ。

市長答弁 温暖化防止、自然エネルギー推進のために設置してきて一定の効果は出ている。しかし、補助金を出してまでする必要はあるか、検討が必要で、現段階では補助金を打ち切る。

《住宅リフォーム補助金制度について》

④質問内容 経済対策、建設事業の活性化として一定の効果はあった。しかし、下水道事業の推進と併せて補助金をもらえる人ももらえなかった人がでて、公平性の上で非常に問題ある制度だ。制度を見直すべきだ。

市長答弁 短期間の補助制度で、事前の周知も足りなかった。補助金をもらえなかった人には申し訳なく思う。補助金制度の統一的な見直しを行い、有効性・公平性・継続性を考え慎重に対応していきたい。また、制度が一定の目的を達成した場合には終了させるべきだと考えている。

【平成24年3月議会】

《各種「審議会等」のあり方について》

①質問内容 伊那市審議会設置指針では、原則として議員の委員就任は認めていないが、議員が委員を務める例が多々ある。二元代表制の堅持や円滑な自治体運営の観点から賛否ある。市長はどのように運営していくか。

市長答弁 議員が委員に就任することにより、市民の意見の反映や議会との情報共有など市政運営上のメリットがある。その時の状況に応じて判断していきたい。

《保護司会への支援について》

②質問内容 伊那市に「更正保護サポートセンター」を設置する計画が進んでいる。市としても支援していくべきだ。

市長答弁 伊那市内で2か所の案をもとに計画が進行中であると聞いている。市としてもしっかり支援する。



サポートセンターの一室

【平成24年6月議会】

①質問内容 伊那市教育委員会のあり方とその将来像を質問。教育問題の課題をめぐり、教育委員会と首長部局との関係が話題となっているためこの点を指摘

教育委員長答弁 教育委員会として、中立性・安定性の確保に努めている。住民の意思が教育行政に反映するよう努めている。

②質問内容 執行機関の役割や市と市民との関係を明確にする自治基本条例を制定すべきだ。

市長答弁 議会基本条例のできた事を踏まえ、制定に向けて研究を開始したい。

【平成24年9月議会】

①質問内容 大津市のいじめ自殺問題から教育行政の危機管理のあり方を質問。外部評価委員会制度の設置は？

教育委員長答弁 いじめ防止対策には万全を期す。教員をこれ以上多忙にはしたくない。

《成人式のあり方について》

②質問内容 伊那市全体で正月開催にすることを提案

教育委員長答弁 時間をかけて検討していく。

皆様のご意見お待ちしております。

検索サイトから！

黒河内浩

検索

<http://www.kurogouchi.jp/>